



応用科学学会

公開技術講演会

計測制御システム設計専門委員会／ヒューマンライティング専門委員会／電子回路応用専門委員会／演算増幅器設計コンテスト運営委員会 共催

2012年5月28日(月) 14:30～17:45

会場：関東学院大学 関内メディアセンター
横浜市中区太田町2-23 (横浜メディア・ビジネスセンタービル8F)

受講料
無料

プログラム

14:30～15:30

講演Ⅰ 計測制御システム設計専門委員会

「eラーニングを用いたグラフィカルシステム設計の教育法」

青山学院大学 非常勤講師 ウグル ユジェル氏

コンピュータを用いた学習や教育は、デジタルコンテンツの普及に伴って拡大している。本講演では、工学教育におけるeラーニングの導入事例を紹介する。また、eラーニングの効果や今後の可能性についても述べる。

..... 休憩

15:40～16:40

講演Ⅱ ヒューマンライティング専門委員会

「震災後の光環境を考える」

岩崎電気株式会社 営業技術課部 照明研究課 江湖 俊介氏

照明は、安全性の確保、視作業性の確保、装飾や演出などを目的に設置される。震災後、照明の節電対策は急速に進んでおり、節電を優先した結果、利用者に我慢を強いている施設も見受けられる。そこで、賢い減光と快適な生活を両立するためのヒューマンスケールに基づく、光環境の新たな評価方法を紹介する。

16:40～17:40

講演Ⅲ 電子回路応用専門委員会／演算増幅器設計コンテスト運営委員会

「たかが増幅、されど増幅。だからアナログ回路は楽しい」

東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 教授 兵庫 明氏

アナログ回路の基本は増幅である。この増幅をするための回路、すなわち増幅回路は、ある物理量（電圧や電流）を何倍かに大きくするための回路であり機能は単純明快であるが、非常に多くの回路が存在し、そしてなぜかいろいろの問題が発生する。ここでは、さまざまな増幅回路が必要となる理由を考察するとともに、設計の難しさと奥深さについて述べ、ある意味で増幅の汎用回路である演算増幅器の設計の魅力と教育上の効用について述べる。

17:40～17:45

ご挨拶 応用科学学会会長 藤井 信生

18:00～20:00

懇親会 会費 3,000円（学生 1,500円） ※講演会場にて徴収いたします。

▶ お申込み方法.....当学会 Web サイトの専用フォームよりお申込みください。
<http://www.ohyokagaku.org/>

▶ お問い合わせ先.....応用科学学会 事務局
〒223-0052 横浜市港北区綱島東 6-3-20 株式会社エヌエフ回路設計ブロック内
TEL/FAX : 045-545-0133 E-mail : info@ohyokagaku.org